

防災 だより^{3号}

有楽自治会

正しく恐れ、 キチンと備えよう

野田講師の防災講座は、今年度 4 回を予定しています。今回の講座は、幅広い範囲の導入編で、次回以降、それぞれの課題に対して深彫りをし、災害時、自分自身の初期対応を具体的にどうすべきかの演習をしていく予定です。



1) 関東大震災

→ **本震後 11 分間で余震 7 回、震度 7 が 3 回も発生!!**

関東大震災を再現した映像を視聴しました。かなりリアルな放送で、ショックを受けた方も多いと思います。震災後 100 年が経過していますが、地中にエネルギーが溜まっていること考えると少々怖くなりました。

2) 今後予測される南海トラフ地震被害想定



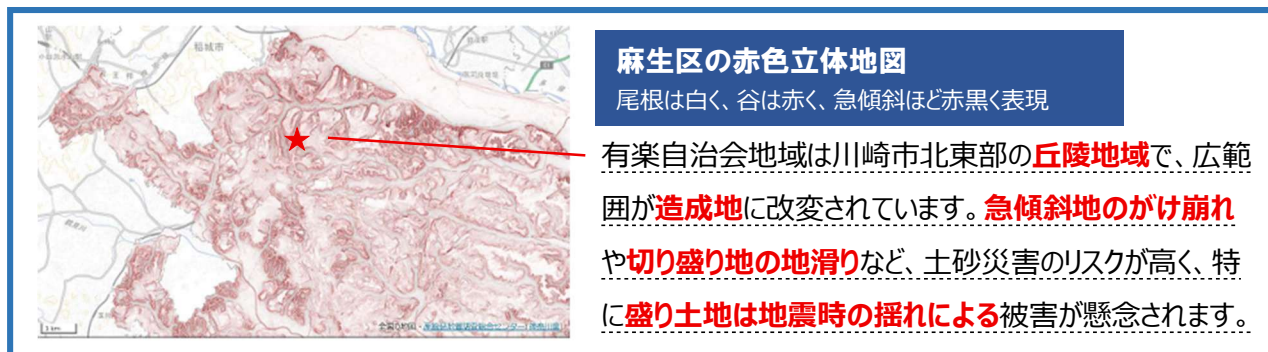
上記は南海トラフの最大被害想定です。国の存亡に関わる事態と言えます。

3) 川崎市と麻生区の現状

図1



図2



麻生区の地域防災計画に基づくデータによれば、大規模土砂災害地区を除く地域では、**災害直後の72時間（救急救命フェーズ※）において公助による安否確認、救命・救護、要支援者の避難支援、初期消火などの救急対策は期待できないと考えられます。**

※二次救命病院や救命救急センターに搬送するまでの一連のプロセス

このため、自らの命を守る「自助」と、近隣住民同士で助け合う「共助・隣助」による初期対応が不可欠であり、日頃からの備えと地域のつながりが重要となります。

首都圏で大災害が発生した場合、私たちの住む麻生区では、どのような公助が期待できるかを正しく認識しておくことが重要です。

※図1：川崎市全域の赤色立体地図と標高段採図(25m以下)を重ね合わせた地図

※図2：全国Q地図 各種地形図・地理空間情報の統合閲覧サイト



7月26日（土）防災士野田講師による防災講座を開催しました。参加者は52名で、「大災害とは何か」、「近い将来ほぼ確実に起きる」、「今から準備が必要」ということを実感できました。皆様からの意見感想お待ちしております。

防災たよりに関するお問い合わせは●氏名●電話番号●お問い合わせ内容を記入のうえ下記自治会代表の専用メール、またはホームページ「お問い合わせ」にご連絡下さい。担当より折り返し連絡させていただきます。

Mail : daihyo@chiyogaoka-yurakuj.net



有楽自治会HP